

オッサン ショウオが行く

ここに
小谷

れみ
怜実さん



プロフィール

日南町出身の22歳（神戸上）。米子の高校を卒業後、倉吉の短期大学へ進学。

卒業後生まれた日南町に戻り、鳥取西部農業協同組合へ就職。現在3年目となる。

この仕事を選んだ理由は

大学時に国際文化交流学科という学科に入り、地域社会や外国の文化について学びました。学んでいく中で地域に関わることができたらという思いが芽生えたことと、実家が農業をしていたこともあり農業協同組合に就職したいと思いました。農業協同組合は地元の方が多く来られ関わることができることと、様々な事業をしており多岐にわたる仕事ができることに魅力を感じました。

仕事内容は

私は主に“信用業務”といって窓口でお金の出入れを行う仕事をしています。具体的に言うと、窓口が開いてからは振り込みや引き出し、窓口でのお客様の対応を行い、窓口が閉まってからは現金を合わせる作業や次の日の準備などを行っています。納税の取り扱いもしているので1カ月の中でも忙しい週とそうでない週とがあります。

難しいと思うことは

お金を扱う仕事なので、決して間違えてはいけなし、常に緊張感をもって神経を研ぎ澄ませながら仕事をしなくてはならないことです。1円でも合わなければ原因が分かるまで皆で探すので先輩方にも迷惑をかけることになります。特に1年目の頃は“間違えてはいけない”と思いすぎてそのことで頭がいっぱいになり、失敗をしていました。

また、覚えることが多いことも難しいなと思います。専門的な知識も必要で、入社してから一つ資格を取りましたがまだまだ必要な資格があり別の資格を取りたいと思っています。資料も買いましたが中々難しいです。

間違えたらいけない”という緊張感の中での仕事。3年目になると慣れるものなのですか？

全然慣れません。先輩から学んだこととして「忙しいときほど余裕をもって、暇な時ほど丁寧に」という言葉があるので心がけています。3年目になり、1年目のときに対応できなかったことができるようになってきて少しは成長できたのかなと思う時もありますが、全体的にまだまだだなと思います。

やりがいは何ですか

お客様と関わっていて「ありがとう」と言ってもらえたり、知らないことを提案して感謝されたりすると、この仕事をしていて良かったなあとと思います。

今後の目標は

まずは自分が担当している業務のことを質問されたらなんでも答えられるようになりたいです。そして、この人に対応してもらって良かったと思っていただけるような対応をできるように頑張っていきたいです。

町で頑張る若手として、何か思うことはありますか

同級生が34人いたのですが、過半数は町外に出てしまっています。やはり、寂しいですね。就職先等難しい問題はあるのかもかもしれませんが皆には帰ってきてほしいです。そして日南町で一緒に働きたいなと思います。

